



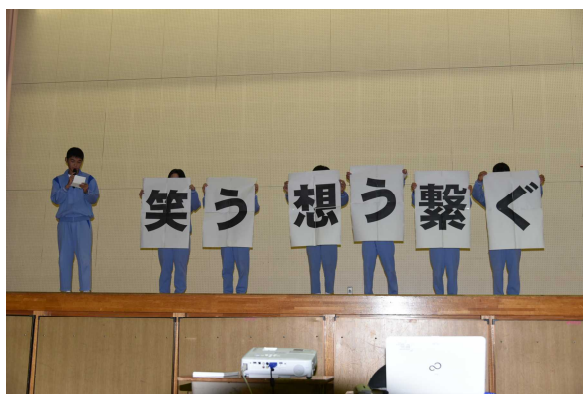
人権集会を行いました

～改めて考えてみませんか人権のこと～

11月24日（金）の6校時、人権集会を行いました。

まず生徒会本部役員さんが、前期生徒会の方針を引き継ぎ、あいさつを交わすことの重要性を訴え、あいさつ運動への協力を呼びかけました。そして、「いじめゼロ宣言」に各自取り組む事への協力を依頼しました。

次に校長は、人権とは「私たちが、人間らしく生きていくための基本的な自由と権利」であり、「全ての人は他人の尊厳や価値を尊重し、それを侵害してはならない義務と責任を負う（群馬県人権教育充実指針より）」を確認しました。言葉を換えれば、人はいろいろな見方や考え方があることを理解し、受け入れることが人権の基本であることを伝えました。そして、人権侵害の被害者や加害者にならないために、自分や他の人を大切にすることが重要であり、そのスタートは「相手の人を気かけ声をかけたり、困っている人がいたら話を聞いてあげること」であり、ゴールは「自分の命と相手の命を守ること」とであるという話をしました。



【生徒会の呼びかけ】

その後、「imagination」というDVDを視聴し、人権の重要課題の中から、子どもの人権、同和問題、障がい者の人権の3つについて考えました。以下は3年生の感想の一部です。

○…私たちに1番身近な人権問題はイジメだと思います。イジメはあってはならないことだと思います。もし、誰かが嫌なことを言われて傷ついていたら、普通に「おはよう」など声をかけたいと思いました。見て見ぬふりは絶対にしないと改めて思いました。…

○…私は誰かがいじめられているところを見たことはないが、見ていだけでは何も変わらない。でも、いじめっ子に直接注意するのはとても勇気がいる。だから、いじめられている子に優しく声をかけたり、あいさつをすることでいじめられている子もうれしい気持ちになるし、効果的だと思った。…

国立政策研究所による小中学生への9年間のいじめ追跡調査によれば、「仲間はずれ、無視、陰口」を「された経験がある」と回答した人が9割、「した経験がある」と回答した人が9割ということです。つまり、いじめはどの学校にも、誰にでも起こり得る可能性があり、誰もが被害者にも、加害者にもなり得る可能性があるということです。

休泊中の生徒は、小学校から（あるいはそれ以前から）長年一緒に生活をしているため、みんな良くお互いを知っており、仲がよいです。そのため、逆に何気なく交わす言葉で知らないうちに人を傷つけてしまうこともあると思います。そんな時は、お互いに注意し合えるように、日頃から仲の良い特定の人だけでなく、いろいろな人とコミュニケーションを図れるように意識し、実践することが大切だと思います。

12月1日（金）は、世界的にエイズのまん延防止と患者・感染者への差別・偏見防止を目的とした世界エイズデーです。また、12月4日（月）

～10日（日）は人権週間です。この期間に限らず、時々、学校の様子を聞きながら、人権について親子で考えてみていただけたら幸いです。



【保健室前のエイズキルト】

いよいよ受験モードに

－休泊中学校の伝統 1800分受験マラソンスタート－

2学期の期末テストも終了し、本格的な受験シーズンに入るこの時期から、休泊中学校の伝統の1つである1800分受験マラソンがスタートしました。

これは、体育祭や合唱コンクールも終了し、クラスの絆が深まった生徒が、規則正しい生活を維持しながら、クラスの仲間とともに受験を乗り越えようとする取組です。本校では希望者により朝の時間帯（7：55～8：25）を活用して、自主学習を行っています。

良い仲間と環境は人を育てます。お互いに切磋琢磨し合い、受験の雰囲気盛り上げられると学年全体の成績も向上させられることが期待できます。

頑張れ！休泊中受験生！



【朝の教室の様子】

PTAバレーボール大会

たいへんお疲れ様でした

師走のたいへんご多用の中、恒例のPTAバレーボール大会が12月3日（日）の13：00から、休泊中体育館で実施されました。結果は以下の通りです。

Aブロック

1位 チーム3B 2位 チーム1B 3位 チーム1A

Bブロック

1位 チーム2B 2位 チーム1D 3位 チーム3C

今年は、バドミントンネットそのものを使い、スパイクなしというルールのため、ラリーの続く人に優しい試合でした。その中でも、アンダーハンドサーブを巧みに操り、ネットすれすれの早いサーブを打つ保護者やスパイクを打てない分、フェイントのようにネット下に落とす教職員がおり、時折「おー」というどよめきや拍手が起きるほどのとした雰囲気でした。何よりも大きな怪我がなく、楽しめたことが良かったと思います。参加した皆様たいへんお疲れ様でした。



【PTAバレーボール熱戦の様子】

よい歯と口のコンクールで群馬県より「学校表彰」

1年B組は「学級表彰」を受けました

11月29日（水）群馬県や群馬県歯科医師会等の共催による、よい歯と口の学校・学級コンクールで休泊中学校と1年B組がそれぞれ学校・学級表彰を受けました。これは、歯や口腔の保健について、正しく理解し、実践していることが認められたもので、日頃よりお子さんに歯磨きを習慣化し、むし歯があった時に、すぐに歯医者に行かせ治療させていただいている保護者の皆様のおかげです。

むし歯は放っておいて治るものではありません。予防のための歯磨きを徹底し、むし歯ができればすぐに歯医者に行かせるしか治す方法はありません。学校でも給食後の歯磨きタイムの時間を確保して歯磨きを推奨しています。「のばそうよ 健康寿命 歯みがきで」これは、今年の県の歯・口の健康啓発標語コンクール最優秀作品です。健康の為、今後も引き続きお子さんに歯磨きの声掛けをお願いします。